



愛腎協 かわらばん

患者の、患者による、患者のための愛腎協

第220号 編集：(一社)愛知県腎臓病協議会事務局 発行：令和6年1月10日

名古屋市へ陳情を実施しました。

■日時／2023年12月5日(火)13時～14時

■参加者／(名古屋市腎友会)鈴木則子(会長)、森田順子(副会長)、高橋元治(副会長)
(愛腎協)伊藤寿男(会長)、下前君夫(名古屋本部長)、鬼頭智則(増子病院代議員)、
川辺延彦(西本病院代議員)

(名古屋市健康福祉局)平松修(局長)、田嶋仁美(障害福祉部長)、大脇千鶴(障害福祉部障害企画課長)、土方伸司(健康部保健医療課長)、伊藤邦和(高齢福祉部介護保険課主幹)、森本隆史(健康部保健医療課主幹)、鈴木善博(新型コロナウイルス感染対策部新型コロナウイルス感染対策室長)、宮地健太郎(障害福祉部障害企画課企画係長)ほか1名

(仲介人：名古屋市議員)加藤一登

■陳情事項／

- (1) 重度心身障害(児)者医療費助成制度に対する名古屋市事業の継続をお願いします。
- (2) 透析患者の送迎について助成制度を検討してください。
- (3) 大規模災害に備え透析患者の生命を守る支援をお願いします。
- (4) 患者が自分の治療への理解と満足度を高める役割を担う「メディエーター」配置を病院への広報・啓発をお願い致します。
- (5) 透析患者が安心して透析ができるよう特別養護老人施設や医療療養型病床等を総合的に考えていただくよう要望します。
- (6) 透析患者のコロナ感染対策を従来どおり継続してください。



▲名古屋市と名古屋市腎友会・愛腎協の陳情風景



▲左から平松修名古屋市健康福祉局長、加藤一登名古屋市議員、鈴木則子名古屋市腎友会長

愛知県が物価高騰の影響を受ける医療機関等を 引き続き支援します。(愛知県議会)

(一社)愛知県腎臓病協議会(愛腎協)に愛知県保健医療局健康医務部医療課医務グループから下記の資料が送られてきました。これは、愛知県議会の12月定例会で可決したものです。内容は燃料費や光熱費、食材費などの物価高騰の影響を受ける社会福祉施設の支援に42億6847万円のうち医療機関などの支援に27億2754万円が充てられたことで

記

物価高騰の影響を受ける医療機関等を 引き続き支援します。

保健医療局健康医務部医務課
医 務 グ ル ー プ
内 線 3171・3170
(ダイヤル)052-954-6274

予算額 2,727,545千円

(既決予算額 1,491,306千円 → 4,218,851千円)

物価高騰の影響を受ける医療機関等に対し、円滑な運営に支障がないよう、燃料費、光熱費及び食材費の高騰分を引き続き支援します。

対象事業	燃料費高騰分の支援 50,840千円	光熱費高騰分への支援 2,244,967千円	食材費高騰分への支援 (新規) 431,738千円
対 象	透析患者送迎、 訪問診療 を実施する医療機関	病院、有床診療所、 無床診療所、歯科診療所、薬局、助産 所、 施術所(あん摩マッサージ指圧師、 はり師、きゅう師、柔道整復師が施術 を行う施設)、歯科技工所	病院、有床診療所
対象期間	2023年10月から2024年3月まで		
対象経費	透析患者送迎、訪問診療のために使用する 車両の燃料費の高騰分	光熱費(電気・ガス料金)の高騰分	食材費の高騰分
交 付 額	◎透析患者送迎を実施する医療機関 1台当たり50,000円(定額) ◎訪問診療を実施する医療機関 1台当たり11,000円(定額)	◎病院、有床診療所 1床当たり20,000円(定額) ◎無床診療所、歯科診療所、薬局、助 産所 1施設当たり50,000円(定額) ◎施術所、歯科技工所 1施設当たり20,000円(定額)	◎病院、有床診療所 1床当たり6,400円(定額)

その他の活動報告

- ★ 12月9日(土): 東海ブロック会議(WEB)
- ★ 12月10日(日): 広報委員会(市政資料館 第2集会室)
- ★ 12月24日(日): 組織強化委員会(市政資料館 第2集会室)

活動予定

- ◎ 1月7日(日): 第2回臨時西三河本部会議(安城総合福祉センター)
- ◎ 1月14日(日): 尾張本部会議(江南市布袋ふれあい会館)
- ◎ 1月16日(火): 第4回業務執行部会議(愛知県白壁庁舎内県会議室)
- ◎ 1月28日(日): 第2回セミナー「あなたの心臓は大丈夫ですか」(名古屋都市センター会議室)